

県競技力向上対策本部 ラグビー体験教室



26年国スポへトライ!

小中学生、プロ選手から指導

八戸

3年後にトライを決めろー。2026年に青森県で開催される第80回国民スポーツ大会に向け、県競技力向上対策本部は24日、八戸学院大で、小中学生向けのラグビー体験教室を開いた。各競技の人口の裾野を広げるため、14年度から実施する事業の一環。児童生徒42人はプロの選手やスタッフの指導を受け、ラグビーの楽しさに触れた。（桑田友人）

県が包括連携を結ぶリコージャパンの協力で、国内最高峰、リーグワン1部のリコーブックス東京の選手をスタッフから指導した。県内の女子チーム「弘前サクラオーバル」も協力した。

トライを目指し、グラウンドを駆ける生徒ら

教室の午前は小学1年生、午後は中学生が対象。子どもたちは座学の後、グラウンドで汗をかきながら、プロ選手から指導を受けた。十和田市立東中1年の清水碧人さん（13）は「相手をかわす時は体を大きく動かした方がいいと学んだ。とても面白かった」と笑顔で話した。